

教科	理科	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
天気と情報①天気の変化	9	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。	○天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 ○天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。	○天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生命のつながり①植物の発芽と成長	11	発芽と成長の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の発芽、成長とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。 ○植物の発芽について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。 ○植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。	○植物の発芽について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○植物の発芽について、実験結果をもとに条件と関係づけて考察し、表現している。 ○植物の成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。	○植物の発芽についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○植物の発芽と成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生命のつながり②メダカのたんじょう	8	魚を育てる中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○魚には雌雄があることを理解している。 ○魚の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○生まれた卵は日がつたにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。	○魚の発生や成長について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○魚の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○魚の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○魚の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に
天気と情報②台風と	4	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○天気の変化は映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 ○台風の進路は天気の変化の規則性が当てはまらないこと、また、台風がもたらす降雨は短時間に多量になることを理解している。	○台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○台風についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○台風について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生命のつながり③植物の実や種子のでき方	7	結実の様子に着目して、それに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の結実とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○植物の結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。	○植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○植物の結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○植物の結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
流れる水のはたらきと土地の変化	12	流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 ○川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。 ○雨の降り方によって、流れる水の量や速さは変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場面があることを理解している。 ○流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	○流れる水の働きと土地の変化について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 ○植物の結実について、予想や仮説をもち、解決の方法を発想し、表現している。 ○植物の結実について、実験結果をもとに受粉と結実を関係づけて考察し、自分の考えを表現している。	○流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立本一色小学校

もののとけ方	12	物が水に溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物の溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。 ○物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。 ○物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 ○物の溶け方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○溶けている物を取り出すことができることを理解している。	○物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○物の溶け方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
--------	----	--	---	---	---

教科	理科	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ふりこの性質	9	振り子が1往復する時間に着目して、おもりの重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○振り子の運動の規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによって変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。	○振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○振り子の運動の規則性について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○振り子の運動の規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

もののとけ方	15	ものが水に溶ける量やように着目して、水の量や温度などの条件を制御しながら、ものの溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験に関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成することができるようになる。	○ものが水に溶けても、水とものを含む重さは変わらないことを理解している。 ○ものの溶け方の違いを調べる工夫をし、電子てんびんやメスシリンダーを目的に応じて用意し、安全に正しく操作して実験をしている。 ○ものが水に溶ける量には、限度があることを理解している。 ○水の量を増やすと、水に溶けるものの量も増えることを理解している。 ○ものが水に溶ける量は、水の温度、溶けるものによって違いがあることを理解している。 ○溶けているものを取り出す方法を工夫し、ろ過器具などを目的に応じて用意し、安全に正しく使って実験をしている。 ○水溶液の性質を利用して、水に溶けているものを取り出すことができることを理解している。	○ものの溶け方や溶けたもののゆくえんについて、発想した予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を発想し、表現している。 ○ものが水に溶ける量について、発想した予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を発想し、表現している。 ○ものが溶ける量を水の温度と関係づけて考察し、表現している。	○ものを水に溶かすことに進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、ものの溶け方の規則性を調べようとしている。 ○ものが水に溶けるときの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
電磁石の性質	11	電流の大きさや向き、コイルの巻数などに着目して、これらの条件を制御しながら、電流がつくる磁力を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようになる。	○電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。 ○電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 ○電磁石がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。	○電磁石がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○電磁石がつくる磁力について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○電磁石がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
電磁石の性質	12	電流の大きさや向き、コイルの巻数などに着目して、これらの条件を制御しながら、電流がつくる磁力を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようになる。	○電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。 ○電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 ○電磁石がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。	○電磁石がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○電磁石がつくる磁力について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○電磁石がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

生命のつながり④ 人のたんじょう	8	人の発生についての資料を活用する中で、胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるよう	○人の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○人は、母体内で成長して生まれることを理解している。	○人の発生や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○人の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○人の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○人の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
---------------------	---	---	--	---	---